

参考資料

参考資料－１ ロードマップ

街路樹・公園樹管理の基本方針①～④は、下図のロードマップを基本に取り組んでいきます。

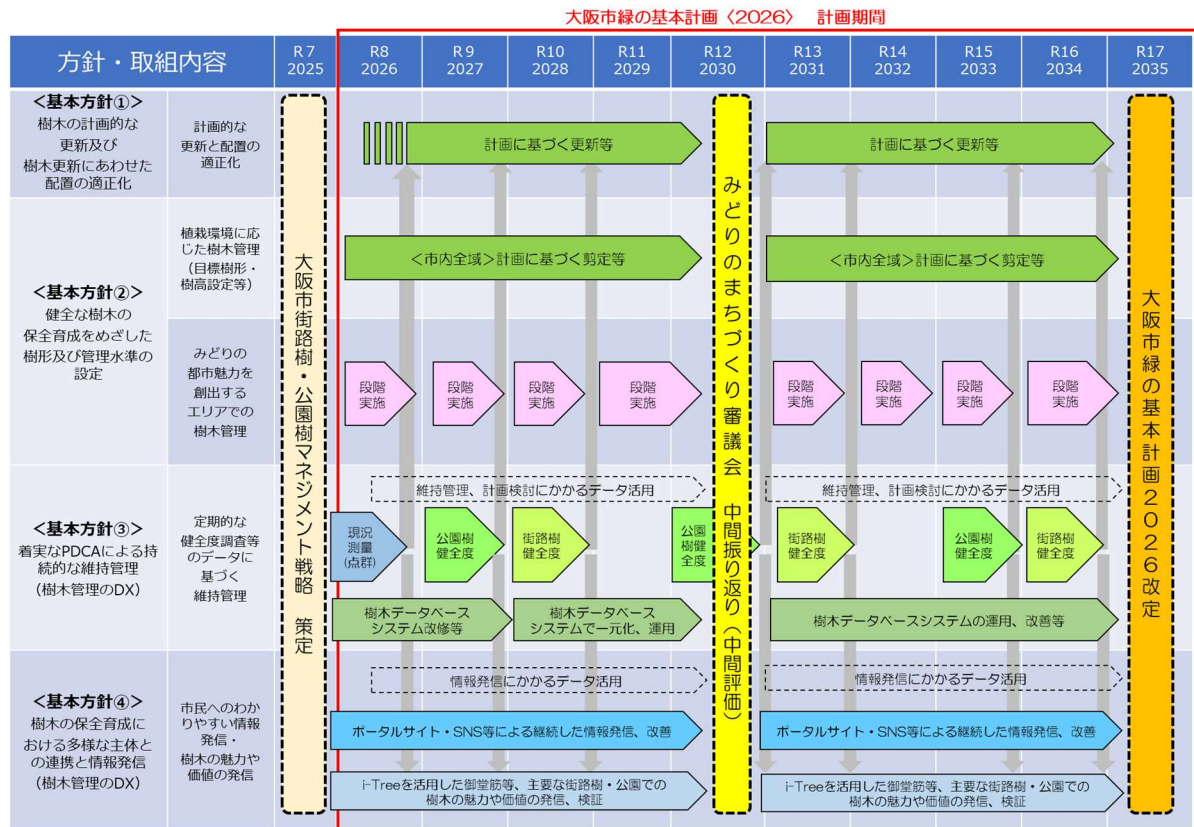
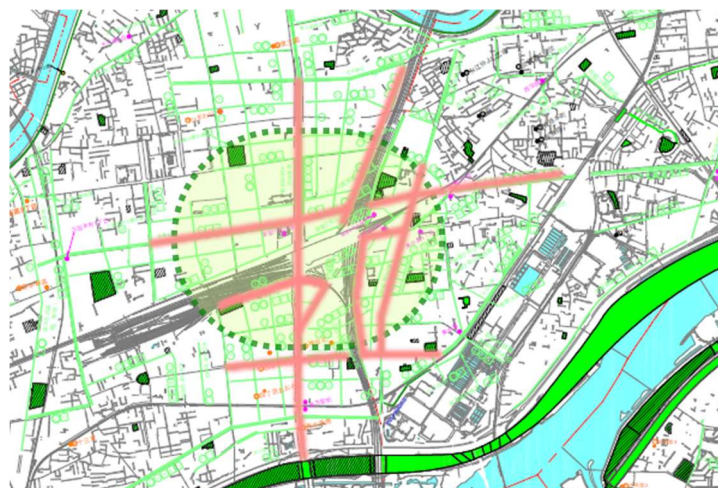


図 ロードマップ

参考資料－２ 美しい樹形や豊かな緑陰を形成する路線（街路樹）

現在検討している、緑化重点地区ごとの美しい樹形や豊かな緑陰を形成する路線の対象は、下記のとおりです。

（１）新大阪地区



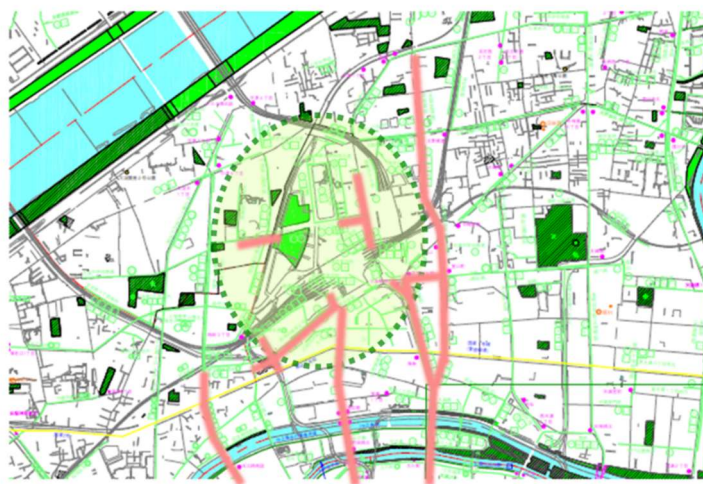
：緑化重点地区

：対象路線

※みどりの都市魅力を創出するエリアで、
「美しい樹形」や「心地よい緑陰」を形成し、
景観や快適性を向上する箇所

図 新大阪地区における対象路線

（２）大阪地区



：緑化重点地区

：対象路線

図 大阪地区における対象路線

(3) 中之島周辺地区

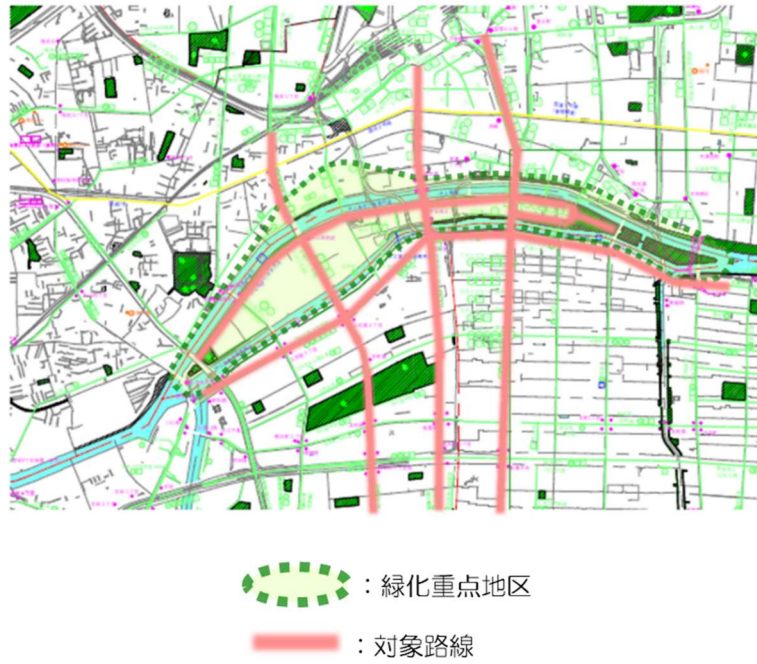


図 中之島周辺地区における対象路線

(4) 大阪城周辺地区

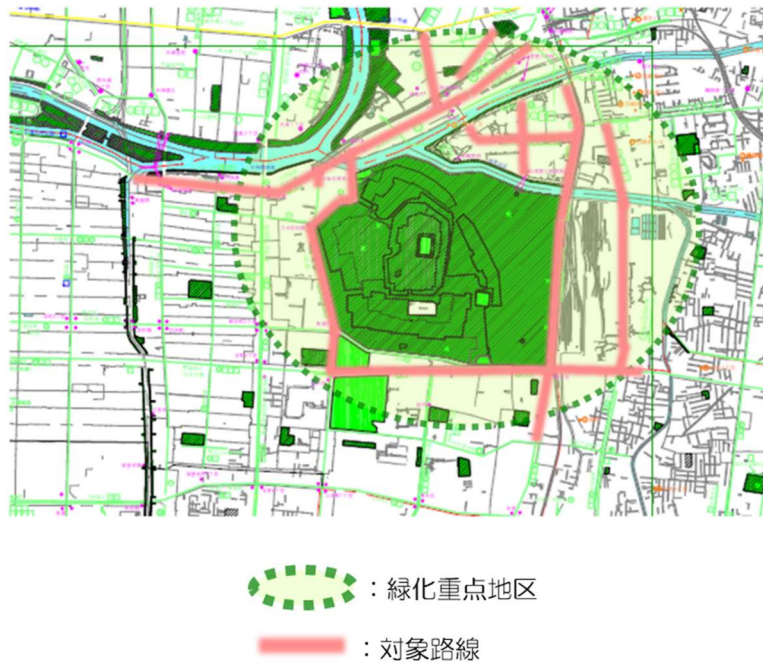
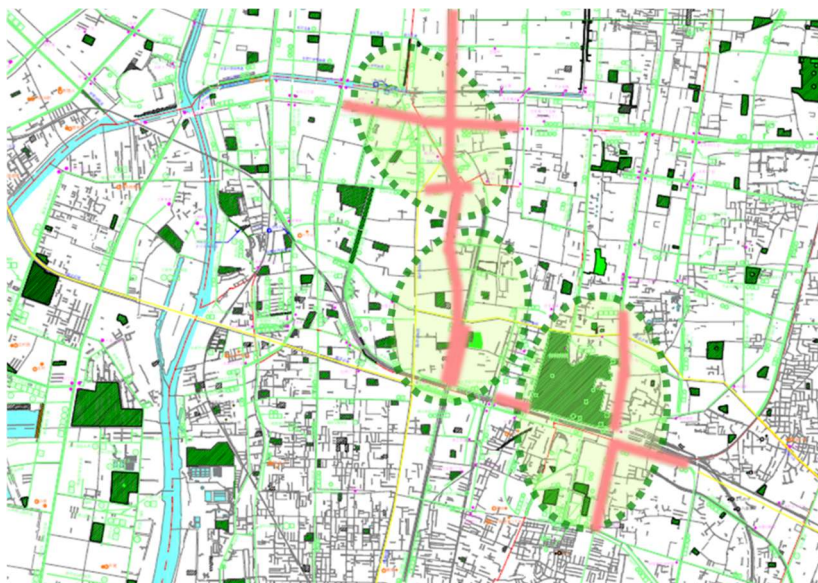



図 大阪城周辺地区における対象路線

(5) なんば・天王寺・あべの地区



 : 緑化重点地区


 : 対象路線

図 なんば・天王寺・あべの地区における対象路線

用語集

| 用語 | 説明 |
|-----------|---|
| あ行 | |
| i-Tree | 米国農務省森林局が中心となり産学官連携で開発した、炭素固定量などの樹木がもつ定量的評価を樹木1本ごとに算出できるプログラムで、世界40か国以上で利用されているツール。 |
| か行 | |
| 根系誘導基盤材 | 樹木を健全に生育するために、根が伸びる空間を十分に確保する、道路の路盤下の土壌改良。 |
| さ行 | |
| 細根 | 一般的に2mm以下の細い根のことで、樹木はこの細根により、土壌から水分や養分を吸収します。 |
| 里山 | 原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域。 |
| 支持根 | 樹木が風や雨により倒れないように、樹体の支持機能をもつ太く堅固になった根のこと。 |
| 自然樹形 | 人為的な剪定などを行わず、樹種本来の枝葉の伸長により、形作られた、樹木の外形。 |
| 樹冠 | 1本の樹木の枝葉の広がり部分。この広がり部分が冠のように見えることから、樹冠という。 |
| 樹冠投影面積 | 樹冠を地表面に真上から投影した面積のこと。 「1本あたり樹冠投影面積」とは、対象範囲内の樹冠投影面積の総和を、対象範囲の樹木本数で平均した面積のこと。 |
| 樹勢 | 樹木の生育状態のこと。樹木が全体的に活力旺盛であるかを判断する指標の一つであり、葉の付き具合や枝の伸び具合などの外観から判断されます。 |
| 樹木樹林率 | 対象範囲の面積に対する、樹木と樹林が占める面積の割合。 緑被率から、芝生地などの緑被面の面積を除いたもの。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 樹木の更新 | 生育不良で健全度が低下している樹木や、道路空間や周辺環境に対して大木化し目標樹形や樹高を維持することが困難となった樹木などについて、撤去・植え替えを行うものです。 |
| 植栽基盤 | 植物の根が支障なく伸長して、水分や養分を吸収することができる条件を備え、ある程度以上の広がりがあり、植物を植栽するという目的に供される土層と定義されます。この植栽基盤は、有効土層と排水層から構成されます。 |
| 植樹帯 | 良好な道路交通環境の整備、沿道における良好な生活環境の確保または都市部の良好な公共空間の形成を目的として、樹木を植栽するために、縁石等により区画して設けられる帯状の道路の部分进行さします。 |
| 植樹枿 | 主として高木を植栽するために、歩道等の一部に縁石等で区画して設けられる植栽地进行さします。 |
| シンボルツリー | 公園を特徴づけ、象徴（シンボル）となる樹木。 |
| た行 | |
| DX（デジタル・トランスフォーメーション） | <p>一般的には、「新たな価値を創造することを目的に、デジタル技術の駆使によって既存の枠組みを变化させる」ことを进行さします。</p> <p>大阪市 DX 戦略（2023 年3月策定）では、“MISSION（大阪市の使命）”として、「データやデジタル技術の活用を前提に、サービスの利用者の目線で、大阪市のまちや地域のあり方、サービスや行政のあり方を再デザインし、社会環境の变化にも的確に対応していくことにより、大阪市内で生活、経済活動を行う多様な人々がそれぞれの幸せ（Well-being）を実感できる都市へと成長・発展させること」として进行います。</p> |
| 点群 | 車載レーザーや移動式レーザースキャナ等による三次元点群測量により取得できる三次元情報のこと。樹木1本1本の位置情報に加え樹高や枝張などの情報を把握することができます。 |
| 特定外来生物 | 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で定められた、外来生物（外来種のうち海外由来の生物）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるものを进行さします。 |
| 土壤改良 | 植栽地の劣悪な土壤の理化学性を耕うん、土壤改良資材・肥料の施用等によって、植栽植物の生育にふさわしい状態に改良すること。 |
| 徒長枝 | 樹形を乱す原因となる、直線的に急に大きく伸びる枝。 |
| な行 | |

| | |
|-----------|--|
| は行 | |
| 防根シート | 根の進入を物理的に防ぐためのシートで、根上り対策や、建物の基礎や配管保護などの様々な場面で利用されます。 |
| ま行 | |
| 間引き | 密植された植栽地の樹木の密度を減らすために、一部の樹木を伐採する作業のこと。残した樹木の健全な育成を図るために行うもので、間引きを行わずに過密な状態で維持した場合、樹木はお互いの生長を阻害します。 |
| 密植 | 植栽地において、密度を高く植栽すること。 |
| や行 | |
| 有効土層 | 植物の根群が伸長できる土壌層。有効土層は、十分な保水力と適度の養分を含む「上層」と、主に植物体支持と水分吸収のための根の広がり確保する「下層」で構成されます。 |
| ら行 | |
| ランドマーク | 地域の目印となる象徴的な景観要素。 |
| 緑陰 | 狭義には、樹木が日光を遮ることによりできる影をさしますが、広義には、樹木の枝葉が天蓋のように上空を覆うことで、寒暖や乾湿などの変化が緩和された快適な空間のことをさします。 |
| 緑視率 | 人の目線で見たままの、緑の多さを把握する指標。 特定の方法で撮影した写真の撮影範囲に占める、樹木（幹、枝等も含む）や草地、壁面緑化、芝生などの緑の面積の割合。 |
| 緑被率 | 樹木・樹林に加え、芝生地等の緑被面も含めた、都市の緑全体をとらえた指標。 |

発行：大阪市建設局公園緑化部緑化課
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
TEL: (06) 6615-6891[直通]



大阪市